

令和元年度高知県小規模林業推進協議会・通常総会・第1回協議会

開催日：令和2年9月4日

場 所：高知県立青少年の家 大集会室

○中嶋会長 どうもこんにちは。会長をさせてもらってます中嶋です。今日はお越しいただきありがとうございます。

今、この時期はやっぱりこのコロナをどう見据えて林業を展開するかということが大事なんだろうと思います。木材価格が下がってます。自伐林家の中には、もう今年はおさないとか言ってる方も結構おられます。特に小規模林業の方は、それほど材価下落が大きな影響にはなっていないかなという感じはするんですけど、素材生産業者たちはかなりしんどいみたいです。

それで、我々もコロナ後をどう見るか。今は材が安いので、やっぱりそれほど出せない。林業の作業自体がコロナはあんまり関係ない。一番コロナから遠い作業、産業だと思うんですが、材が安いから、今はやっぱり作業道を入れてコロナ後に備えると。その代わり、その作業道が今回のような台風で壊れては意味がない。だから壊れずに使い続けられる作業道を入れて、コロナ後の体制を組んでおく。

そのためにも、コロナ対策費として作業道をつける予算がもっとつけば、小規模林業の方々は、道を入れる状況が生まれ、そのお金で何とか耐えながら、5年後等に生産できる状況をつくって、一気に林業従事者も増やしていくというような展開がいいのではないかという気がします。そういう方向性を定めながら、着実に皆様に頑張ってもらいたいと思います。

佐川町では、この5年で自伐型林業展開をずっとやってきて、何と移住者が今50人超えたということです。多分、全国の市町村の中で一番多いと思います。そこはちゃんとした支援を行いながら、それをうまく展開した結果で。こういう展開を高知県内の市町村はもっとやってほしいなと思っています。

今はその基盤整備しながら、ちょっとコロナ後を待つというようなことが非常に重要ではないかと思いながら、そういう要望も国の方にもしてきました。先週ですが、自伐議連というのがあって、コロナ対策として作業道に支援を充実させろという提案を今度していこうということで合意してます。

そういうようなことで、なるべく皆さんがやりやすい状況を創出させていきたいと思

います。県はこうやって非常に協力的ですので、いかに連携しながら展開を進めるか、そこを一緒に考えながらやっていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。